

Topic.01

大島火まつり・富岡花火大会
 今年の火文字は「生」



8月16日

大島百八灯（大島火まつり）が今年も行われ「生」の文字が大島にもとされました。火文字は、当日に大島火まつりの準備に参加した地区の人たちが、全員でその年にちなんだ文字あるいは願いを込めた文字を協議して決めます。今年には西日本豪雨災害や地震などが発生し、あらためて生命の大切さを感じさせる出来事が多かったことから「生」の文字に決まりました。市観光協会が実施した火まつり文字当てクイズには17通、11種類の文字の応募がありましたが、正解者はいませんでした。また、火まつりに合わせて和合運動公園から1000発以上の鮮やかな花火が次々と打ち上げられました。夜空を彩る鮮やかな色彩に、花火見物に集まった人々からは歓声が上がっていました。

Topic.04

怖いけど楽しいタベ
 おぼけ大会

毎年恒例の「おぼけ大会」が生涯学習センターで開催されました。おぼけ屋敷になった館内をめぐる、怖くて楽しいタベを満喫していました。おぼけ大会には、23人の高校生をはじめとする計152人のボランティアスタッフが参加し、おぼけ大会を盛り上げていました。



7月22日

Topic.05

アーチェリー日本代表
 深澤菜見さん（上高瀬）来庁



アーチェリー日本代表の深澤さんが世界大会出場を前に、市長を表彰訪問しました。深澤さんは、第26回世界フィールドアーチェリー選手権大会選考会で第1位となり、日本代表に内定。9月にイタリアで開催される同大会へ出場します。



8月8日

Topic.02

富岡製糸場
 夏のライトアップ

富岡製糸場でライトアップイベントが開催されました。東置繭所はシルクのような白色と涼しそうな青色を基調とした色でライトアップされた他、女工館や繰糸所、煙突などにも照明を点灯。ガイドツアーも実施され、参加者は幻想的な夜の富岡製糸場を堪能しました。



8月3日～5日
 10日～19日
 24日～26日

Topic.03

夏の企画展「井田淳一と生徒たち」

今年、没後20年の節目を迎えた元県立高校美術教師の井田淳一さん（甘楽町出身）と高校時代に井田さんから指導を受け、現在も活動を続けている精鋭28人の生徒たちの絵画や立体作品が美術博物館で展示されました。



大橋博さんの作品「rabbit」

7月28日～9月2日

Topic.06

お互いの資源を活用
 JAF観光協定調印式

日本自動車連盟（JAF）群馬支部と観光振興に関する協定を締結しました。これにより、本市はJAFの観光情報登録システムの利用が可能に。モデルドライブプランや観光施設情報を登録・公開（JAFナビ）し、地域へのドライブ観光客誘致を図ります。



7月23日

Topic.07

優良河川愛護団体で表彰
 二十地区長寿会

県庁昭和庁舎で、優良河川愛護団体等表彰式が行われ、二十地区長寿会（杉山洋一代表）が、大澤知事から表彰されました。同会は、平成8年から高田川親水公園内の河川清掃活動に取り組み、除草・ごみ拾いなど年9回の環境美化活動を実施。河川愛護思想の普及に貢献しています。



7月5日